

北陸地方の園芸振興について

令和7年4月
北陸農政局

○北陸農政局の園芸振興の取組（概要）

北陸農政局では、地域農業の高収益化を目指して、園芸作物の導入を本格的に推進していく中、以下の課題に直面。

- (1) 「できた」事例、前例をそもそも知らない。「できた」事例での苦労や障害を乗り越えた秘訣が分からない。
- (2) 何を作れば売れるかわからない。

★北陸農政局の主な取組

(1) 生産者の先進事例の情報収集・整理

整理事例：取組事例集

整理事例：労働力確保事例集

水稲と畑作物の複合経営
白ねぎ栽培で定期的な収入を確保

株式会社ヤマジマ（白山市）

水稲以外の主な園芸作物等

園芸作物導入の経緯等

- ◆ 12集落の300戸を超える農業者から出資金を募り、平成14年に(株)ヤマジマを設立。
- ◆ 市場価格が高値で安定し、単収2トン以上が見込める「白ねぎ」に着目して導入。
- ◆ 現在の経営規模は、白ねぎ3.5ha、麦・大豆40ha、水稲25ha。
- ◆ 正社員5名、農繁期に登録パート者から雇用。

これまでの課題に対する対応

- ◆ 多品目でなく「白ねぎ」に絞って栽培技術を確立。
- ◆ 冬期の作業があることで、年間の雇用が図られた。
- ◆ 水稲販売収入がない月の売上に貢献。
- ◆ 市場との信頼関係を重視する観点から、選別は厳しく行っている。
- ◆ 市場出荷のほか、ラーメン店や焼き肉店へ出荷販売。その他、配送や包装作業が省ける近隣の消費者にも販売。

今後の展望等

- ◆ ねぎ集出荷施設の竣工を契機として、栽培面積を拡大するとともに、複数品種の導入や新たな栽培技術の習得で、年間を通じた出荷・販売を目指す。
- ◆ 地域の若手農業者育成への貢献を図る。

地域の人材活用
(全農おおいた)

- ・ 農作業受託会社（株）菜果野アグリへの登録者がグループ単位で農作業を実施（アルバイトは1日単位で農作業に従事）
- ・ アルバイト者を定着させるため、管内で春～秋（トマト・ネギ・キャベツほか）に加え、冬場のキャベツ生産を開始し通年雇用が可能

取組内容

- ・ 5～8名一組で農作業に従事するため、初心者でも作業をしながら技術習得が可能。
- ・ 農作業へのハードルを下げるため、現金日払い・作業現場への送迎を実施。

登録者（約250人）

登録者属性

- ・ 30～50代の主婦層
- ・ 大学生アルバイト
- ・ 本業の休日に副業として働きたい層
- ・ 将来就業を検討している層 ほか

JAグループ大分の組合員

(2) 実需者ニーズや出荷農産物の需給状況の調査

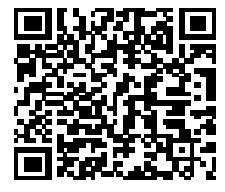
①卸売市場（仲卸、青果）、多店舗型スーパー、カット野菜メーカー等の実需者への聞き取り。

②農産物の入荷量情報や価格情報の収集・整理

～整理事例：北陸地域における地場産野菜の供給シェア～

ごく僅か (10%以下↓)	少ない (10～20%)	やや少ない (20～30%)	普通 (30%以上↑)
ばれいしょ 3%	ミニトマト 14%	きゅうり 21%	だいこん 36%
たまねぎ 8%	ほうれんそう 15%	トマト 26%	ねぎ 49%
	キャベツ 11%	にんじん 21%	さといも 87%

(出典：北陸農政局調べ（令和4年産）)



農政局
HPは
こちら
←←

情報発信！

- ・ 農政局HPへの掲載、各県拠点からの現場周知。
- ・ 生産者・実需者、関係団体が参加するイベント（北陸高収益サロン）の開催。

○（１）生産者の声

○まとまった収益を上げるためには、売れるものを作ること。

⇒品目を決めて、いつ、誰に売るか、からスタート。

○安定した生産・出荷のため、機械へ投資。

⇒人よりも安定し、作業効率は確実に向上する。

○利益性の高い加工用野菜に注目。

⇒加工用は単価が低いが、歩留まり9割以上を見込め、価格差のカバーは可能。

○一定の経営水準（生育から販売先確保）に育つまで5～7年要した。

○出荷期間の延長や多品目販売のためには生産者ネットワークが有効だが、誰もリードをとらない。

⇒小規模でも生産者と実需者とを結ぶ仕組みが必要。

○水田での園芸作物導入は、簡易にできる排水・湿害対策が必須。

⇒額縁明渠、サブソイラー等

○経営継承の際に、後継者が園芸部門で独立



○（２）①実需者の声

○地場産がもっと欲しい（鮮度・品質を重視）。

⇒特に冬場は地場産の仕入れが減少する。この時期にあればなお嬉しい。

○小ロットでも受け入れ、全て買取することも可能。

ただし、最低限の条件として、生産履歴の添付は必須。

⇒GAPのような本格的なものではなく、栽培日誌等で十分。

○多品目を作付できる生産者、一定期間安定して出荷してくれる生産者を歓迎。

⇒理想は少量多品目・安定出荷。

○実需者のリクエストを生産者・産地に結びつける組織や仕組みがあれば、

さらに取引を拡大できる。

⇒欲しいもの（品目）を、欲しいとき（時期）に、欲しい分（量）だけ。



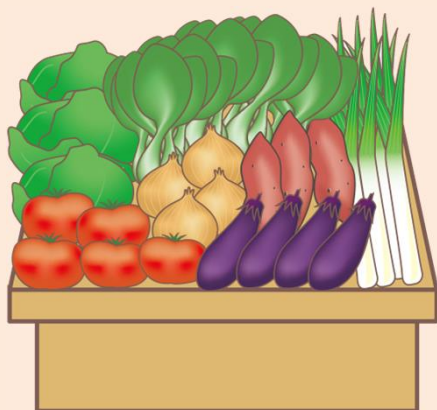
農産物の入荷量情報や価格情報の整理

- 北陸農政局では、公表されている「指定野菜の入荷量や価格」、「青果物卸売市場調査報告」等をもとに北陸地方の野菜の流通状況について情報を収集・整理。
- 生産者の営農戦略・実需者の販売戦略の参考になるよう、[北陸地方の地場産のシェア状況](#)や、[品目ごとに整理した市場への入荷量及び市場価格情報](#)等を農政局HPにて公開。



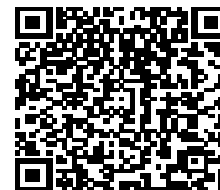
北陸の野菜の需要と供給

- ※ [【資料】北陸市場における主要野菜の入出荷量、価格と産地の入荷推移\(PDF：3,974KB\)](#)
- ※ (分割版) [【資料】北陸地域における地場産野菜の供給量\(PDF：166KB\)](#) [【資料】北陸地域への主要野菜移入量地場産シェア\(PDF：418KB\)](#) [たまねぎ\(PDF：208KB\)](#) [にんじん\(PDF：115KB\)](#) [ねぎ\(PDF：115KB\)](#) [だいこん\(PDF：203KB\)](#) [キャベツ\(PDF：133KB\)](#) [ばれいしょ\(PDF：237KB\)](#) [さといも\(PDF：94KB\)](#) [トマト\(PDF：231KB\)](#) [ミニトマト\(PDF：346KB\)](#) [ほうれんそう\(PDF：229KB\)](#) [きゅうり\(PDF：100KB\)](#) [えだまめ\(PDF：632KB\)](#) [ブロッコリー\(PDF：95KB\)](#)



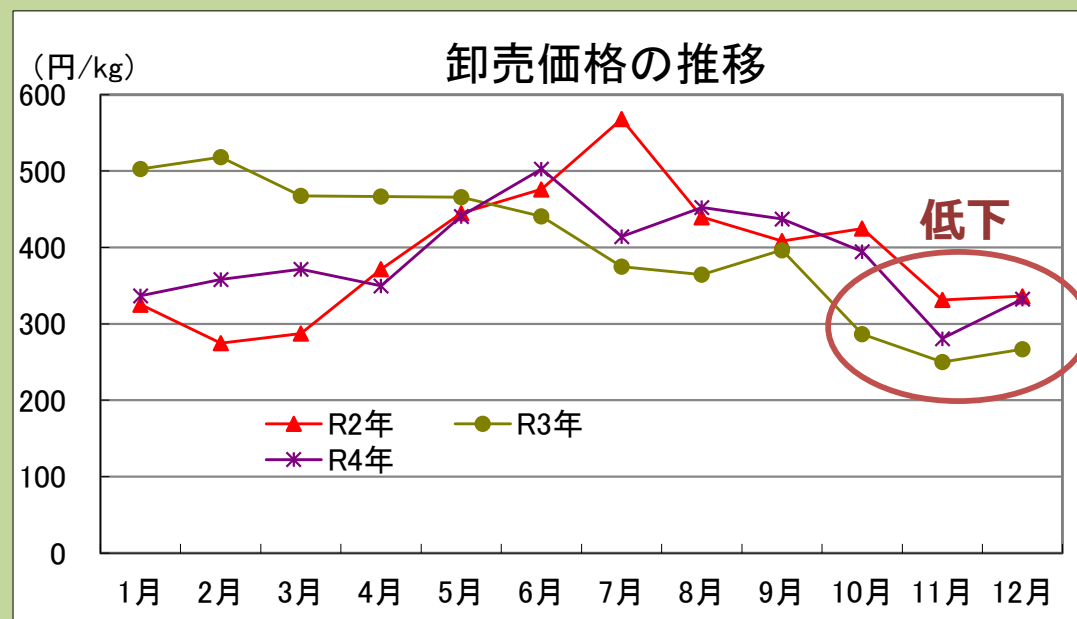
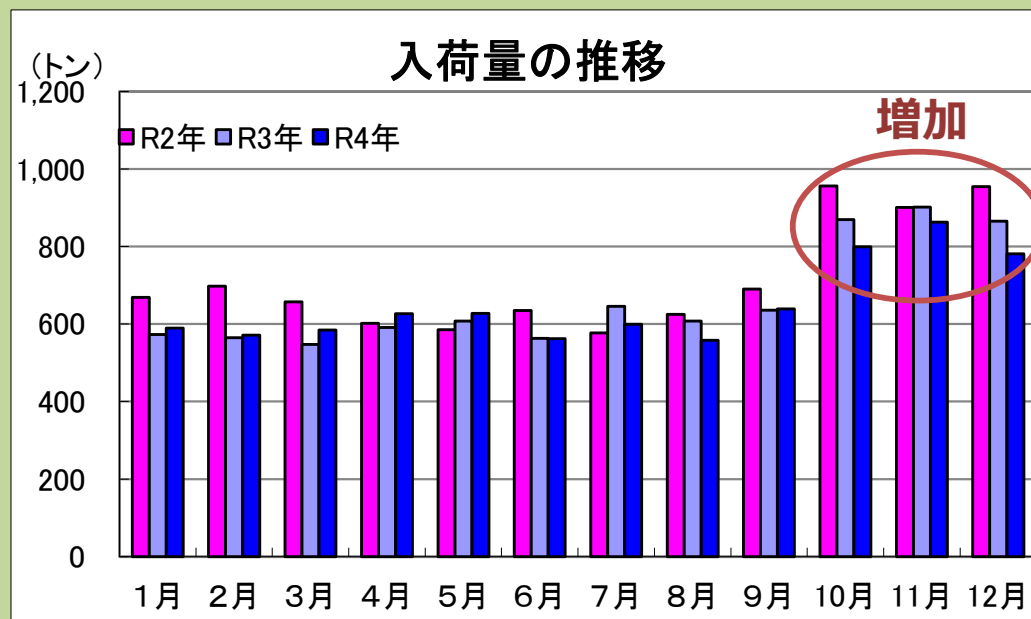
HPリンクはこちら！





入荷量と卸売価格の推移

資料：指定野菜の入荷量と価格
(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)



10～12月にかけて、入荷量は多くなり、卸売価格は低下する傾向が見られる。

取り扱い数量と入荷シェア

▼取り扱い数量

全国市場	北陸域内市場
180千t	3.5千t

▼入荷シェア

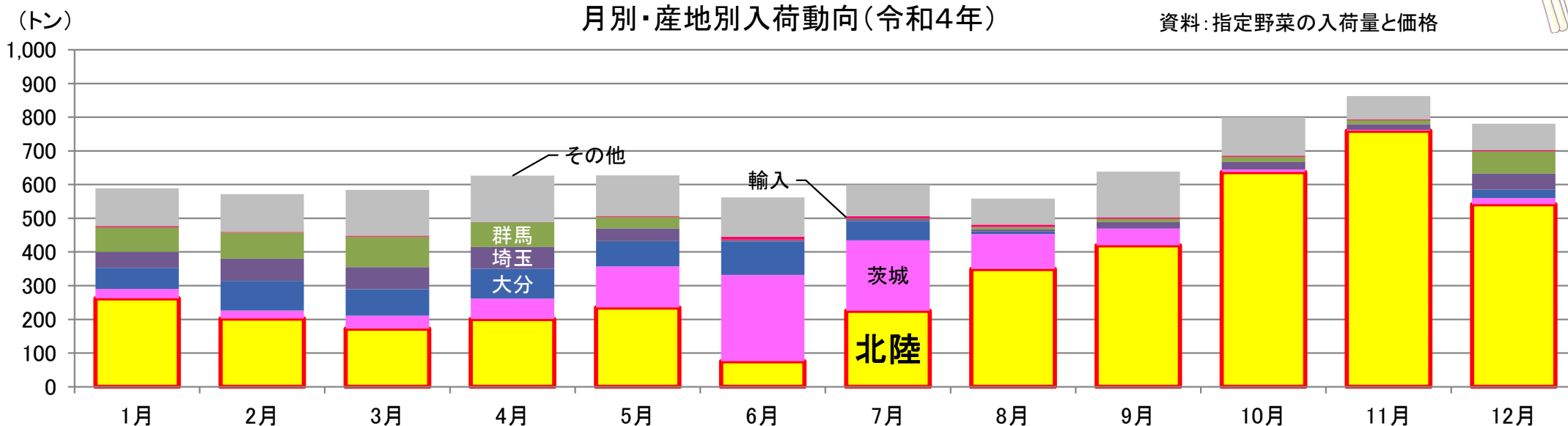
北陸域外から	北陸4県から
51%	49%

月別・産地別入荷動向



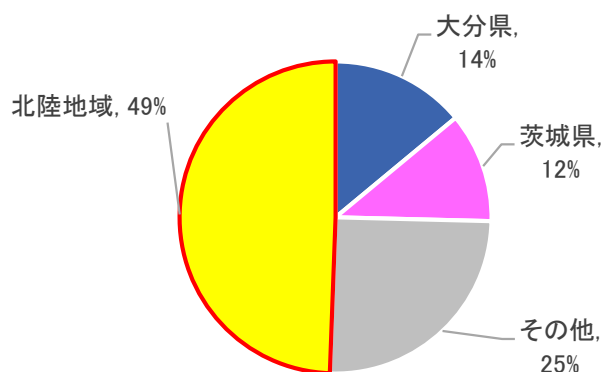
月別・産地別入荷動向（令和4年）

資料：指定野菜の入荷量と価格



産地別取扱割合

産地別取扱割合



資料：令和4年青果物卸売市場調査報告

★生産者の声：株式会社小西農園（福井県福井市）

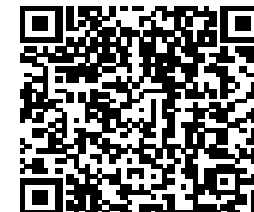
- ・ 7月中旬～5月の約10か月の間、出荷
- ・ 冬でも作業のできる作物として普及員から紹介

★実需者の声：丸果石川青果株式会社（石川県金沢市）

- ・ それなりに手間はかかるが、技術的にそう難しくない。
- ・ 収穫作業は比較的容易であり、時期を選べる。
- ・ 冬場に収穫、販売できるので、冬場の収入源になりえる。
- ・ 価格は比較的ブレがない。

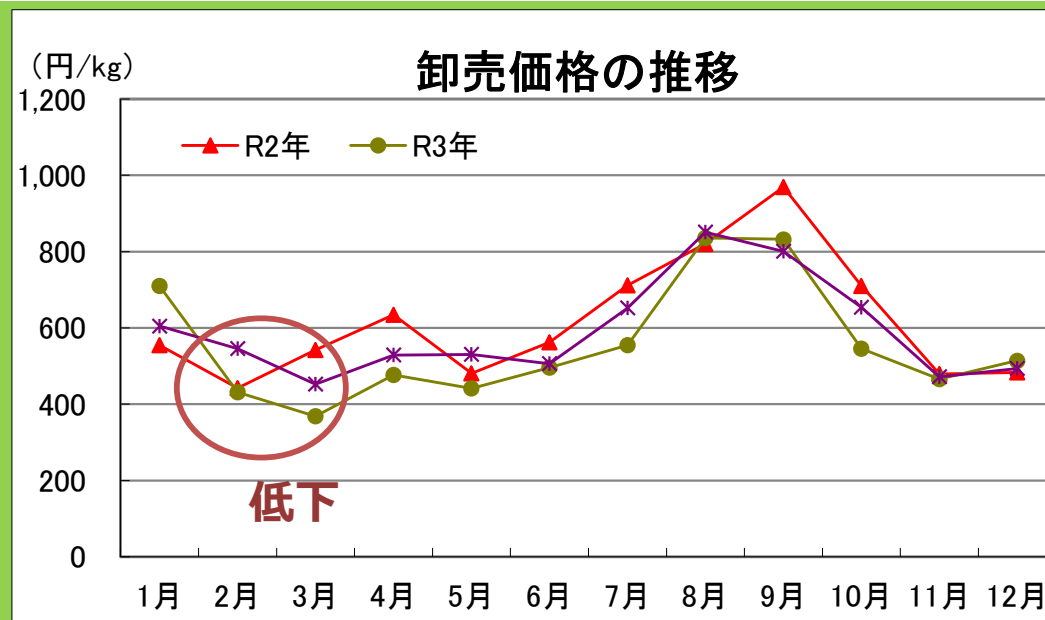
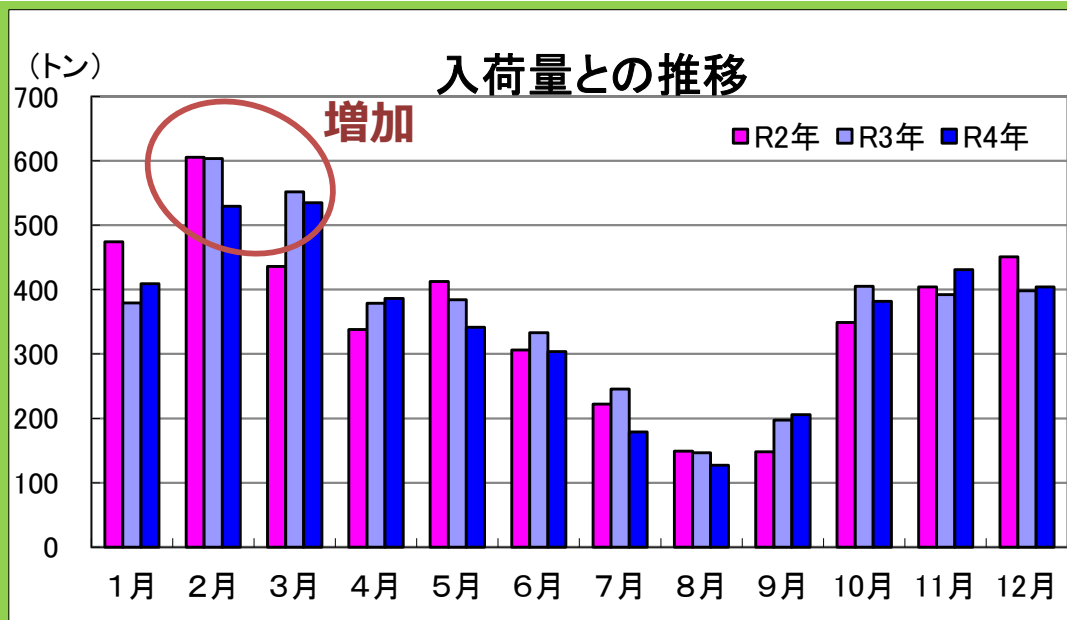


農政局の公開情報②～ほうれんそうの動向～



入荷量と卸売価格の推移

資料：指定野菜の入荷量と価格



2月から3月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。

取り扱い数量と入荷シェア

▼取り扱い数量

全国市場	北陸域内市場
78千トン	2.4千トン

▼入荷シェア

北陸 4 県から	北陸域外から
15%	85%

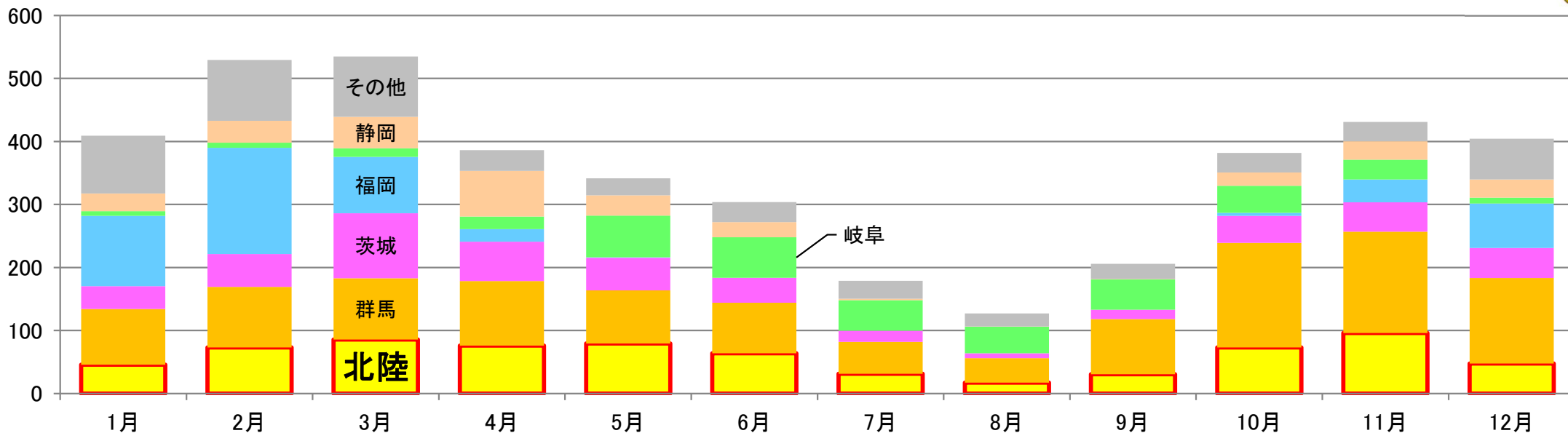
月別・産地別入荷動向



(トン)

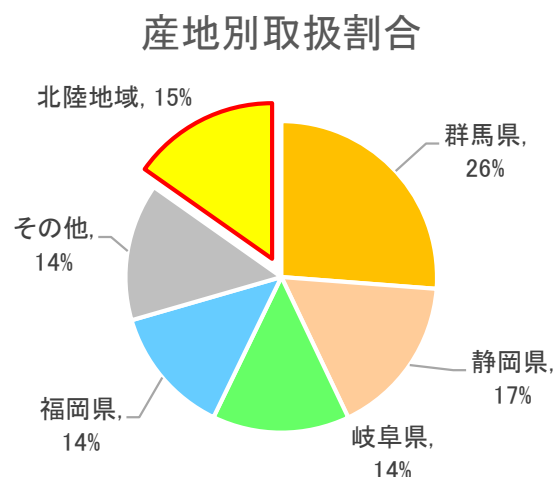
月別・産地別入荷動向(令和4年)

資料: 指定野菜の入荷量と価格



産地別取扱割合

北陸地方でも周年出荷されています！



★生産者の声：高岡市農協野菜出荷組合軟弱部会

- ・高岡市（東部地区、佐野地区、西部地区）の生産者らが、ハウス栽培と露地栽培で、ほぼ周年、ほうれんそうを栽培

★実需者の声：富山中央青果株式会社（富山県富山市）

- ・年間を通して需要がある。
- ・企画やチラシが組みやすく、販売計画も立てやすい。
- ・北陸エリアでは小松菜の生産が多く、ほうれん草の希少性は上がっている。

○北陸高収益サロンの開催①（マッチング交流会の開催）

- 生産者、実需者、関係機関等への情報提供の場として、令和4年度より年に2回「北陸高収益サロン」を開催。
- まず初めに、生産者や実需者の生の声を届けるべく、パネリストや参加者間のマッチング交流会を開催。

「マッチング交流会」概要

<パネリスト（生産者）>

- ・（有）中山農産（富山県高岡市）
- ・（有）安井ファーム（石川県白山市）
- ・三つ星（株）（福井県坂井市）

令和4年度
交流会
X

<パネリスト（実需者）>

- ・イオンリテール（株）北陸信越カンパニー（石川県七尾市）
- ・生活協同組合連合会コープ北陸事業連合（石川県金沢市）
- ・JA金沢市（石川県金沢市）

<パネリスト（生産者）>

- ・（株）てらだファーム（富山県入善市）
- ・（株）小西農園（福井県福井市）
- ・NOTO高農園（石川県七尾市）
- ・JA新潟かがやき（新潟県新潟市）

令和5年度
交流会
X

<パネリスト（実需者）>

- ・（株）どんたく（石川県七尾市）
- ・薄井青果（株）（石川県金沢市）
- ・（株）ベストアグリフーズ（石川県金沢市）



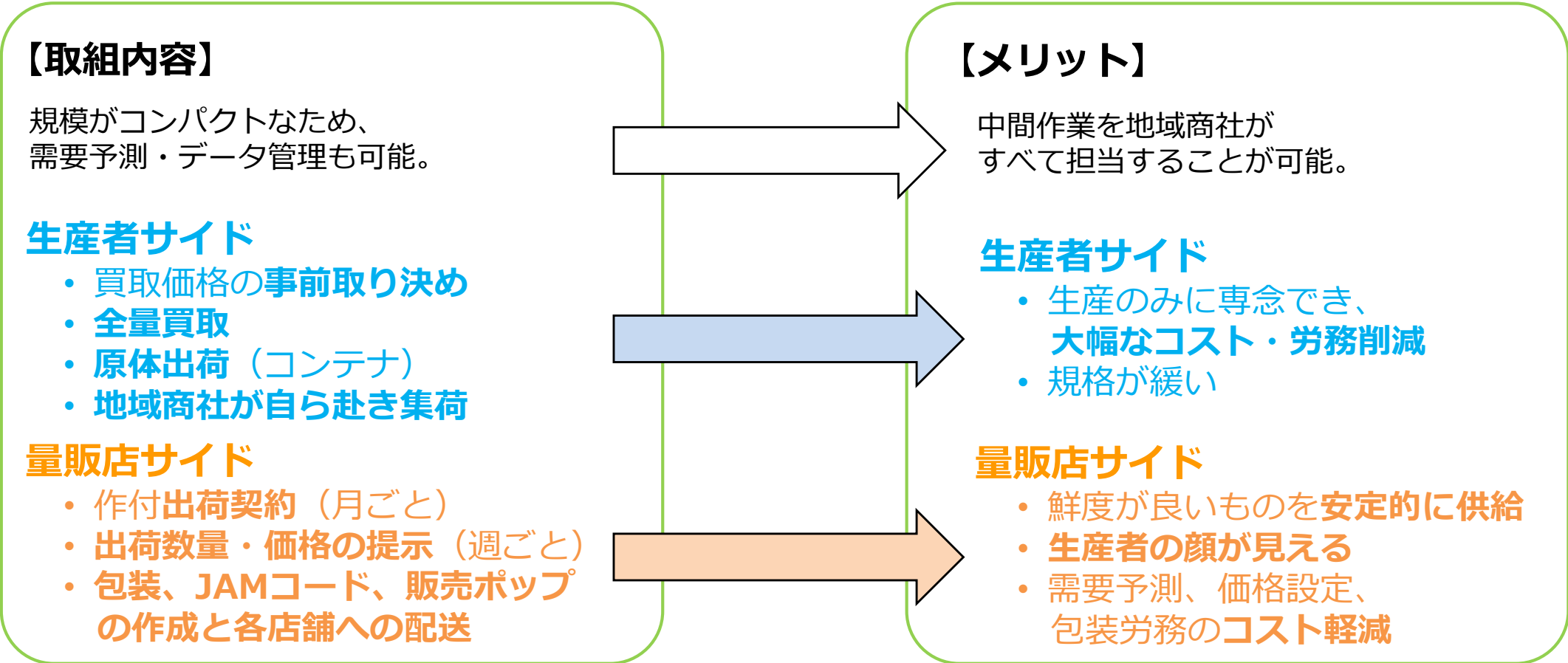
○北陸高収益サロンの開催②（地域商社サロンの開催）

○令和4年度に、園芸作物の安定生産に資するモデル的な流通体系として地域商社の取組を紹介するイベントを開催。

「地域商社サロン」概要

「地域内農産物流を実現するコンパクト型地域商社」
～有限会社漂流岡山～

※コンパクト型地域商社【～漂流岡山の例～】
産地から店頭までの物流を同一地域内に限定した
“コンパクト流通”を展開する中間流通業者。



▶ **生産者、量販店サイドともに利益率の向上が見込まれる！**

○北陸高収益サロンの開催③（加工・業務用野菜の生産拡大の開催）

○ 加工・業務用野菜の生産拡大に向け、生産者及び実需者を交え、安定した供給・品質等に関することや、商談から現実的な契約のあり方等について議論するパネルディスカッションを中心としたイベントを開催。

「加工・業務用野菜の生産拡大」概要



野菜園の6割

北陸高収益サロン

加工・業務用野菜の生産拡大

令和6年11月22日（金）14:00~16:00

加工・業務用野菜を知っていますか？
北陸地域の「今」について語りつくします！

1 加工・業務用野菜の現状

「国産野菜シェア奪還プロジェクト」について
「加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2023」について

2 パネルディスカッション 質問コーナー

生産者	実需者
株式会社 津南アグリ 前社長 石橋 雅博 氏 津南町で雪下ニンジンやキャベツを栽培。スマート農業も積極的に実施中。	株式会社 ユーキフーズ 仕入部長 山田 淳一 氏 北信越のスーパーやドラッグストアの他に夕食宅配のヨシケイへカット野菜を販売。
JA福井県 加工・業務用野菜部会 「あぶら菜会」 顧問 坪田 清孝 氏 キャベツ、たまねぎ等の収益性の高い品目を選定し、栽培。	株式会社 セイソー 代表取締役 奥村 晃 氏 産地リレーをすることで国産野菜の周年供給を可能に。地場野菜を積極的に取り扱う。

対面&オンライン開催

対面会場

石川県金沢市広坂2-2-60
金沢広坂合同庁舎 7階
生産部会議室

○香林坊バス停より徒歩約5分

参加登録はこちら

どなたでもお気軽にご参加を！！

令和6年11月19日（火）17:00〜切
“北陸農政局 水田高収益”で検索！

主催 農林水産省北陸農政局 ☎ : 076-232-4314

★当日の話題提供の一例

「加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2023」

令和6年度 農林水産省からの調査分析委託事業

加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2023（青果物主要13品目）



加工・業務用野菜の契約取引に必要な

- ①契約に際しての基本的な留意点
- ②標準的な取引手順
- ③契約書様式

を示しています。

事業実施主体
【主催・実行】 JJA 一般社団法人 日本施設園芸協会

○北陸高収益サロンの開催④（農業機械関係のイベントの開催）

○ 新規栽培、規模拡大、品目転換等に向けた機械導入や排水対策に関する内容のイベント開催の要望があったことやスマート農業推進の観点から、農機メーカーによる製品紹介を行うイベントを開催。

「園芸作物の機械化一貫体系に向けた提案」 概要



「スマート農業技術の導入促進」 概要



北陸高収益サロン

どなたでも
お気軽に
ご参加を!!

園芸作物の 機械化一貫体系に向けた 提案

令和6年 2月22日(木) 14:00~16:30

Web開催 (Teams) 参加無料

今の作業をもっとラクにしたい方
農地の排水対策・漏水被害にお困りの方
園芸作物を新しく導入したい方、導入を迷っている方

必見

農業機械メーカーがイチオシ機械を紹介!

参加企業	紹介内容
(株) 中セキ関西中部	・ ねぎの機械化一貫体系
(株) 北陸近畿クボタ クボタアグリサービス(株)	・ サブソイラによる簡易暗渠及び超砕土成形ロータリによるうね形成 ・ にんじん、たまねぎの機械化一貫体系
ヤンマーアグリジャパン(株) 中部近畿支社	・ 水田における排水対策のための機械化 ・ キャベツ、ブロッコリーの機械化一貫体系

※五十音順・敬称略

参加登録 [こちら](#)又は右の二次元バーコードからお申込みください。
申込締切 2月16日(金) 17時まで

主催 北陸農政局 生産部園芸特産課 TEL: 076-232-4314

北陸高収益サロン

スマート農業技術の導入促進

導入コストが低く、
水田農業にも併用できる機械をご紹介します

ぜひ参加してね~

令和7年2月19日(水) 14:00~16:00

プログラム

- ①スマート農業技術の活用について
- ②水田農業と併用できるスマート農業技術の紹介
(ドローン、ラジコン草刈機、自動操舵システム、直進アシストシステム搭載トラクター、自動追従運搬車)
 - ・ 株式会社中セキ関西中部
 - ・ 株式会社北陸近畿クボタ、クボタアグリサービス株式会社
 - ・ 株式会社DONKEY
 - ・ ヤンマーアグリジャパン株式会社 中部近畿支社
 - ・ REACT株式会社※順不同
- ③質疑応答

作業が楽になる機械
ないかしら?

お申込み方法
令和7年2月14日(金) 〆切
二次元コードを読み取るか
“北陸農政局 水田高収益”で検索

主催 農林水産省北陸農政局 問い合わせ先: 園芸特産課 TEL: 076-232-4314